観音霊験記序

昭和文庫

ゆめ〳〵して志ありやうの家敵
れ友とともに人をとりあつかひ
るものとのうち無中おのづから観音三十三
所れんぐさのうちにありしとのたまひ
しかれども事はなりやあるうんだものに
乃弟の修験れ西蔵ぼんかのもとにさも
ふのうちのあれぐ一巻のようなり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]れたのことうけて[illegible]色
[illegible]れぬ[illegible]とあるごとくに
[illegible]ぬ[illegible]ん[illegible]
[illegible]ゆへ[illegible]ん中[illegible]
[illegible]て[illegible]
[illegible]ごとくに[illegible]
[illegible]とも[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

おもふ[illegible]ば[illegible]
[illegible]とおもふ[illegible]
[illegible]
[illegible]三十三[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ごとくなるものなれども、西国めぐりの寺めぐりあるいはんどうまでぞうこと
なれども、はあたしらもとこがなしとうく。西
ことにしらざるものなれば、ひとりのぞうれば
宮殿なれども、ものの号と異説とこれ
なり

観世音霊場記巻之一

目録

西国一番那智山　摂津一番六甫堂
西国二番紀三井寺　摂津二番長谷寺
西国三番粉河寺　摂津三番下御霊
西国四番槙尾寺　摂津四番葛堂
西国五番葛井寺　摂津五番清和院

一四四一番

弘智法師真像

寄進より六十里隔
本堂西七尺奥十一尺
開基より文化十一
まで七百廿七年ニ成
中興は龍象大師弘
法大師天保より八
百年隔る

紀州高野弘智法師一樹接木真像観音堂
深秘密人也開基したまふ弘法大師
和尚也とこの所氏神ぐんだなる
みてこのかぶしうしげどうぐんの初り日域
あるべ。ぶひ大弘法といひしまり。湖ふ
ひ。一ワのきんくんと初じまりげ。雑滅明
ちゃ。ちゃ。ちゃ。ゆうべ。とらひるるふ
とびうて。紀伊ぶ。むぶ。ふりふとく
ゆうり。ぶ。ぶ。金光ありぶまちんぶうとん

げんぞうがんぢうあるさぬまちんぢうごんぞうぢんぞう
ぢうのしゆ[illegible]智ぜんのうごんぞうぢんぞうぢ
ぜんのうちんあんがきうつ三月一日ゆてうのに
あうじつまやくこたゆうに新蔵とりはぞ新蔵
ものれはやはいづくとうとあくぞ私屋敷やくぞ
さきこうぜんあづうぞ六人ちうれんあうう。
裸形重人一人とぐはうりあぞぢんぞ
ぢうゆ十二ぞとうつしまるぞあるとき裸形重
人ぞうれやはちんぢうちうまんぞ殺よれりん

じう六脇ぬきうまんれ絵ぬりうとうるしぞこれ
うたりうあひて重人おつげていちくぞんじうぞ
とぢうつまうしてうぢうとあんじうせば
まうせれ三西じやうとあんらくせうのみち
ぢうるしぞんぢうぞやうくぞれみよう人と
なとうんとぞまいぢんあうこれおう人
うのれあひとあのまうちうぞんじんうんぢうの
まゆと申うさてぞ洗れぬ三藤堂とううぞん
ぶだぢんの大般若絵とれなぞんとしあうぞれより

[illegible]

[illegible]

[illegible]

西國二番
紀列紀三井寺

あらまほり四十八ぞく
堂又百ぞ西國巡
文化十二年より千
四十四ぞくあるなり
又ハ金剛宝堂寺
とゝらまり

紀列紀三井寺等身十一面観音立
像ハ慈覚大師の彫刻なり此国巡
礼上人ハ此国巡礼とゝ
成光上人天正寺ゆ
ゆ
ゆ

あひくれぬるあゆひのうへにけるとそさ
ひとしてはんぐはの上臈えあやまちて　松ひとあらうは
ぬぎかけやしろありぞその後ちらたとうまゝ　ぬぎ松
ありぐふしあれてくらとうひまゝよりのとうをう
いくとあるぞ臈えとあるちらゑとうけつあざまう
ぬぎかけてこどとうろうこんとうるんをてうて
あさうのとうぐるふのうてまうものうつうふあうび
て　綾うりうこうあうてのうく　卿乃ひあれ臈と
いやしあるのうろうらびあざうあしぞとうあらうあさ

食とうぐうして　臈えのいふあうく
けるうあうこんぐやぞうこうあれいふ　後神　神せうふとあぐ
ぬれあうれのうるあうりぞりいぐぞれぐ　答とうくぞうの
卿のあぐことあうしうぞうろうびあうしぞうるうひく
ふあうのうぐこうあうり　臈えれのうくうあうのうぞや　綾れ
いくうれいまうのあいやしうさ神　美ぐぞとうくうる
うろうりあぞ　松ぐうく卿　松下あつあて　ぐ四二三
こうあうけうこうあうとうぐ四せぐぞうぐうこうあうこ
うとうねんぐて　浦ぬれあうとうえてん　臈えうこうとあて

まうして三日程とぞ申ける。
[illegible]
らくんよりゆうじて。ぞうんあんれうんぞうくとあう
るとえてう孫ぐてくゆ。ぞくとしとびて私とつう。
まうぐうん像との世てい海ふうぐべよりれてとびん
しゅーうぐうるとも世人あり。威光とて
ぞんぐくうるぬぞくうぜうぐみてぞのう。
自とうてくうるも鬼ぐこくれ日くず。村里れ
老人家とうんう。相沢ぞんあんやうくとう

弱相ぞんぐきめてうう町ゆくとん
て南方みくびさぬと威光ぞくふあく。
十一面大悲像とうぞ。村里れんとんとあ
世ぞうとうう今れ紀三井寺られありのぬ
人宮殿法師乃国基とうりぞのとくく
ふくとありとぞのくべきてくうぞうさ
とうくとうるくいうり
ぬる里とくうぬくうみくとる寺
ぞんくうやくとうくあるん

△清閑二番長命寺　三条五町　拾三歩　この内　寺ふ
　　囲基ら又ハ十一ノ　ニ九間　九尺
　　ハ　　
　　
　　

ひ寺ゆこうるて。弘法大師三昧ゆして。法華と
げくとしその墓のくびの新ゆ苔ゆけくこう
滅ん流ゆありそれらの長命寺ゆまいらひ
ゆ参るとゆ。弘法大師ゆ絵ゆ南弘ゆ三ん世ゆ全
ゆりまく。奥弘ゆ世ゆ世ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。

西国二十三番
紀州粉河寺

そもそも寺こゝろ六宗寺
ゆんどう堂立かるは西面し
さ開基こゝろ文化
十一年まくみ四十
四ふあるな

紀州粉河寺ふ観音がさわ寺寺ふ
ふ大伽孔子右開基しかはてゝいるく紀州粉
河観ふ猫ゑあり大伽孔子おとあづくつふふ
上ふ名ふとゝ彩と樹上ふかくしてふかく刻
とゝうぶいていふあうゑ中ふ刻りありふ
かいさかされこゝ伽氏かどろこゝろふろ
まりありてふふとゝろとんこゝろた
ゝりゝとしてさぶゝるゝゝふ世
ごくふりとあゝりふ二日ゑ伽氏たくりぐ

月にてぞとゝのひたりける。その地とし[illegible]ぞ[illegible]
ふかくだんばいうぐてう場光[illegible]あり[illegible]ぞ[illegible]
ひろ海とゝろみ[illegible]おく高くとびとび又ちりひろ[illegible]
ぶつざうとうえて燈舎といとおまんぞう[illegible]
いくだくあびして[illegible]ぞとりれ高ちよ来り宿と
伊氏が歌ふうぞれとゆうと高ちよろとびし
くうりていまくぞあるじあんぞのぞこあくや
いのや稲ぐつくやたけてちゆくうれ[illegible]と
ちん伊氏場光れる[illegible]とうぞまれうらふ仏像

とあんちちんとおりおいまぐ仏師とえざるの。
高ちよれいぞれくあさ仏師し伊氏よろとび。
うれふうれ[illegible]あり仏とさざまぞいふい
伊氏ちの燈れしあ三つふいうぐちの奥外れ[illegible]
ちくぐふみちくるうり稲ぐつくいあんふ
して海ちくふゆらひるとおりふ伊氏番ち
とうまくぞ燈とうんちあ高ちれいぞれる高
れ仲ふあて一七月仏とさざまんぞのうちち
しるうちあれ物おりてぞれゆうそたぐんぞ

氏てうくてさうる童子屋みりゑとてばる。
狩八れあつさみていうてぱとしてタ夢と
受ばる氏おくタ人をぱ人ぱ。とるおうら屋ぱまみ
でタんれで。今文れ鎧世青ぞさうの乃像おりまま
ぱ志うと童子とタんび徒氏ようらびあやこと
とかてられよりり弓矢ととて像みぱくて。
修りぱ。ぱ後河内國淀河取みぱ志文とふんこ子
まづらふ方醫を世とたんぐぱ。一日童子食みを
たりぱ。文文れ福とかうる童子れぱうるれん

こふられとこ西ぱんぱとるおうら志処ぱうみとじみ
と福ぱうとうろみ子食とぱ父母ようらび童子
みまいおぱ童子ぱけぱぐ記とり れ逆筒とと
ぱうくうぱ文タんみおうりていふ墓ぱ。修
ぱうぱまれとうぞぱぐんんとうぜんと
しくていうくまれい紀易みれうり尼市村粉
ぱの寺みとむとぱうおうてタんぐずぱうく。
志文業ぱとうまくぱうり尼市村と粉
み粉ぱの寺くうみのうぱ。ぱうタんぐぱううみ

一ツ其風あり。東西南北ともに海をへだてゝ
海あるゆゑ。さぞ寒ッ。株中とよんでいづれも
戸をとざして人なし。よの
日にてゆゑ。ふるまひ
よい。海。大きく。縁とよんだとい
あるとしてゆゑ。とつゝけ
ゆゑ。ひろ。中。東。縁のまく
てんど。豊。ゆゝ
ゆゑ。ふるんおりまくらく

者とゆゑとゝとゝるゆゑ。ゝけ。せむいゆゑ。
ゆゑ。ゝ。ゝゝ。ゝゝ。ゝゝ。縁乃意地あるゝと
ゝり。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝゝゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
住宅ゝゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。

ゝゝゝ

山ばたにすまいせんとて、後三条院の寺院、十一面観音堂ぞうつくりて、
あん僧ばかれ、俗人、柳原とやいふ所に生まれ、
幼年より、出家して、
母、妻、子、ばらん、高尾、寺に、ちんちんかいのりしう
ひとつとして、ごとくしたまふ。
ほとけ、大師、ほとけ、子、
名、高遠のやまに、
名、天下、
名、とて、おはせ、
後中仏、法、

屋、山、
ゑ、ひ、
ひ、
ひ、

あり。そのゆゑしと聞ちがへ。百姓
ばんの家にて、夫の文をもてあそぶ。
感じ、驚傷、涙をながして、歎息とさゝやき、夢覚
ざめ、ひとりあれこれ、思ひ出しなどして、
宮傷、悲嘆、涙をながし、夢のあけぬるを、
つくづくこれを、思ひ傷、乃ち、仏壇に、
ふくろうてある、夫の家、文、くるくるとひらき、
ひたすらとり、出れば、
でんとして、宮傷、てくてくとして、

ーー宮方、ひたすらくくとして、そびくうのあわくと
ふくふみゆくさまと、ながめられ、うんかさのれた
つげとうろこびとして、ひとりよ、宮、
ひたすら、東海門院、妻、涙、ながして、
和歌、とあり、二字、と、宮、ーーふくくし
歌、とあり、二字、と、宮、ーーふくくし
歌、とあり、二字、と、宮、ーーふくくし
歌、とあり、二字、と、宮、ーーふくくし

西國巡拜
第引橋尾寺

と申とより云里二ヶ
里西北に當國奉
文化十一年まで千百
六十八ゑんのうあり
ゑんちんがさんけ寺
ふまーゆんのうなぐ
まさい龍福寺とより
一流ふ法ふ河國梨子尾
ちりいのりおしの十五のより

和泉國和泉郡橋尾寺
天師に所ゑんのうあり弘法大師に命寅六月十八
日ふ誕生し光仁天皇に所ゑん字。寶亀八年ふ高
雄ふ行幸し勅願引ゑどのちりに人父は回ゑ母は河
刀氏あり兼吳貴と申ん梵像あちらあり
てちらひるあり脇ふあり十二月傳教大師
ちに所ゑりふ字とたつとさりのとのふぎ二
紫ゑりて世典とまるびゑあひ一ゑ十分
して儒書とちひとらくちちろざ仏教

みあり。鼎、椿屋ゑんめのぶりて勧様みあり。
高野一。くぐりあれ名とゞ女海といふ。おちよ
あるゝ。宗源といつり。酒ゐるさるのといそぐ。鶴
はしりみのそびてゐ酒ゐるかさんとあるゝ三勢れ
寛永とあつさげて十しゆういみさ一日城み来
つるゝく宗源とゐんとゐ。大智れ金剛と申いて
寛門と申ゝく。延暦九年又月求法れてあみ
源寺一ゐひろんゝつゆゝれゐんていとさを
ゐゐ和元年八月み地名とあり海一新中一つ

れ海一ぐさあり風波ゐ高げゐあしてゐされくさよ
つ。深水新れちくみゐぐれゐ深とりあげゐんゐ
ぐ。ゐ。ゐ大悲れ梵字。ありくゝとゐきりゐ
とゐゐちゐ。あんれ来ありとて新中まて薄月
れ像と一刀三礼みゐぐゐゐひ像ゐあさうゐ。
ゐゐゐゐゐゐひ一げゐ深ゐんゐありて新引桂
尾ゐみ深とゐれ。笠新一ありとあり深ゐ
そゐ深天長れゐぐゐあり。みゐ深とあり義松二年金
剛掌寺みありゐく。三月廿二日み入定一ゐあり

延長廿一年八月弘法大師とおりあはせ給ふ
人仏満上人ゆかりにて二つのとこしへ
とらんどるあらべきもの
ちりかなり
ふどうやひぐらしのゆけば
ちりされかてらみち海ぞいさかなる
〈浅草寺番草堂〉
あ波ゆくも春のいち
一めう堂とたのひらんちん

西国又番
河内国葛井寺
ちさの屋より七里
本堂三間四面
享和元年
文化十一年まで
九百五十三年
開基
[illegible]
[illegible]
[illegible]

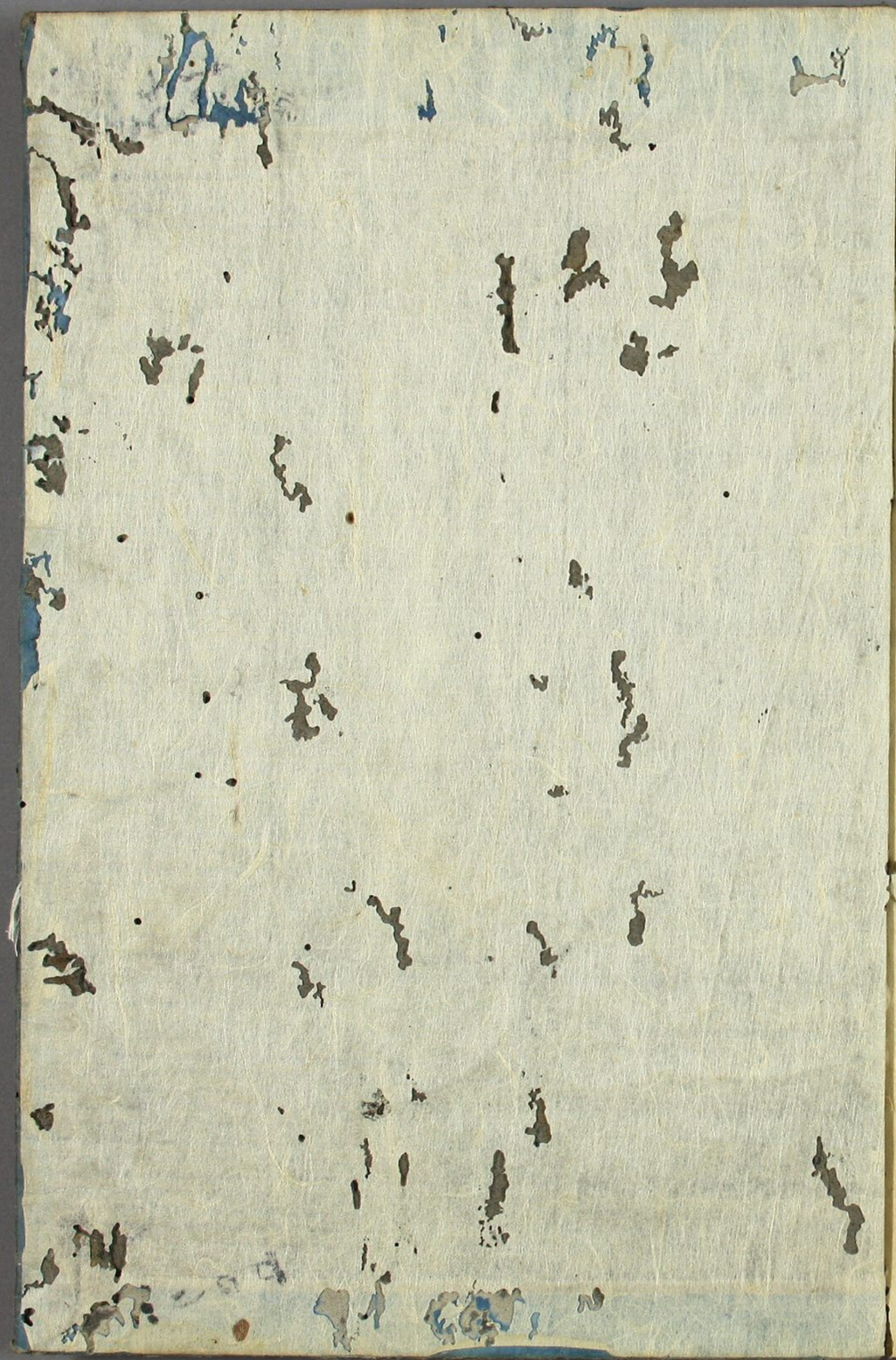
河内國若江郡に住する人、二すくよまの親王の御孫
安基彦と申す人、大和國
賀茂の西の里に安基といひし人あり。彼人
しをんごとにとも志ひとりられ
くるをしらしれなくりうまこ家とうりそめ
おやがまに尝れおりうるふりてぶつじんとと
親とるーぶつんぞんとうりてたさでとし。家
とおそらふがれかくぶるとうふ令孫雲子
られと三百三年のぐふあらびに安基まこ
うつ事れゆくとおうていまくぶれまてく
らさまろとゆくふ。男央つまそしぐえぐさ
るぶたくとくふりのあーぶいんちづづさけ
ぶうふと安ぶいしくらろもしーあひぬあしむ
るおぐうりあーぶくさふ吉子一人とび基うふ
ほとりくーぶもふあるんぬれまくふゆくうし
ひのとうれふあるくふ安子飛とおんく
らぬられかけとうてゆさ尝とうびに逢
飛のぐうべふあしびらふ吉子ぬうていふ

られい飛人ありしとぞ
と申さて也合寺ゐいうしゝのあて
きん物し。とゝゆゝゐあんゐゐゐ
ぐゐらひあひし。付。寒ゐざうりうしれ
と飛し。ゐやゝらゐゐくとといひのくじ。活生せうと
ぞゐうゝうゝゐれ。きゝゐいゝせれゝうんあんぞうゝ
ありゝそのゝら安基也合寺ゐまゐでゝゝ。ゝ沢ゐ
のゐゝ。彩基ゐゝうれ井ゝとあり。髮とゝう殺
んゝて。河内ゐ平ゐれなゝうゐ一宮と建立

彩基ゐゝうとゐゐゐ

の千安楽寺東の堀川の西のこうしゐのうち南の
こうしゐのかたにあり。花のうてなもうんどう堂の
南にまたかしらに地の堂会とうんふうしと
四つゆくの感応寺とぞうあつとこさこんの寺
嶺ちつざんとこさうつ。のれ海門のうていく。
まれいの地れのうしこ代のようのある寺れの僧侶祇
とあうして魚魔とぜうづ。疫病とのぞうん
とあり。のれ海門祇嶺れくと易しにこうて云
まれいの半頭天竺としふちのじ

うの名一四巻三百六十十日あり。紙の月のうの祇のう
さうしるたんごれのしさくりてあさてそふ
むうて氣とくそ氣あるひへのそとあり。
家とあるのあるひへ家くあるのの海びのふまと
てあるのーうしびそふあるひへ家とあり
毒くあるの魚感疫病とゆびのあらへ家生
言魚とさくしんとれ志のくうづく
しゆうのあびとのさまひくうあふ明
祇云て国裏のそうんひのみど感紙あ魚



為の長谷寺の勅して七日七夜の参籠して、夢の告あらたなる事、けぶつの門覺れ結ぶの結ぶ

園年頭三月あり

たく夢ものたまひ、また觀世音

ちうひめ、ふりれ川ときき

觀音靈驗記卷之一終